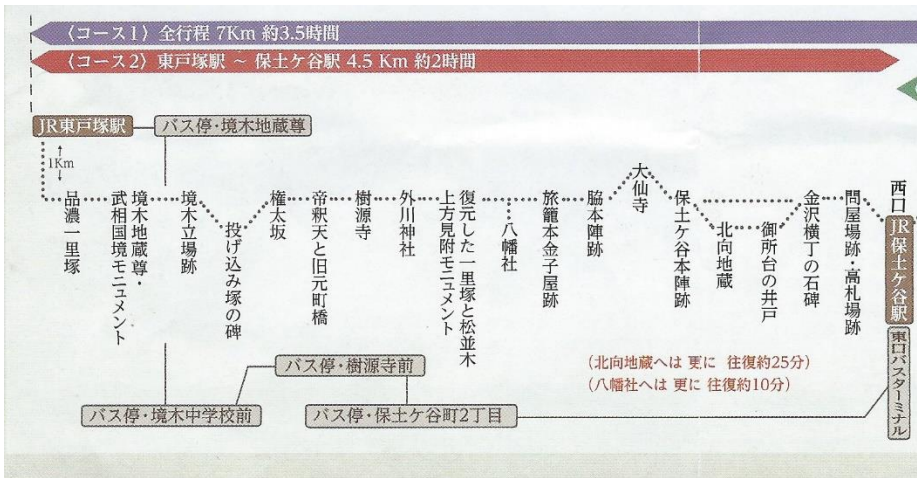


③ 旧東海道保土ヶ谷宿 気まま散歩

4月27日(水) 天王町駅 9:00 集合



JR 横浜駅より相鉄線乗車
 天王町駅で下車。

* 散策順路が変更になっています！

保土ヶ谷宿西口商店街に入ります。
 100mほどで問屋場跡・高札場跡の案内板が、その先の電柱の陰にある「金沢横丁の石碑(道しるべ)」を見つけます。その2軒ほど隣に保土ヶ谷宿番所があり、中には近隣のおばさんたちが親切に対応、ガイドマップなどをいただけます。

直進して商店街を抜けると JR の踏切があります。それを渡ると国道1号線、正面に「保土ヶ谷本陣跡」があります。そこより藤沢方面に進むと「旅籠 本金子屋跡」が案内板とともにあります。



保土ヶ谷駅前のロータリー



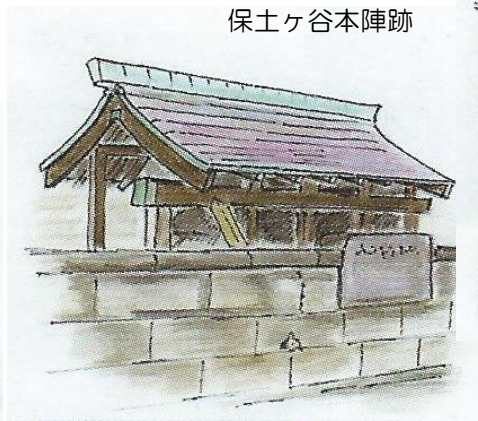
西口商店街を抜け東海道線の踏切が・・・

そして国道の反対側に「大仙寺」が望めます。少し先の信号を渡り、50m位戻ったところに踏切に出る道があります。踏切を渡り山門をくぐると見事な白梅が迎えてくれます。山門の脇には桜もあります。ここは平安中期の創建で区内で最も古い真言宗のお寺の一つです。本陣を務めていた軽部家の菩提寺でもあります。

金沢横町の石碑（道標）



保土ヶ谷本陣跡



旅籠 本金子屋跡

また1号線に戻ります。八幡橋の信号を渡り400m位行くと瀬戸ヶ谷中橋があり、そのすぐ先に仙人橋があります。渡った右手に「外川神社」があります。橋のたもとには復元された一里塚と松並木が続きます。岩崎ガードの信号を過ぎ、次の信号で国道1号線を渡り旧東海道に入ります。JRをくぐるガードを右に見て900m程先の元町まで直進します。

その中間に「樹源寺」があります。江戸時代初期に開山した日蓮宗の庭園の美しいお寺です。突き当たって左折し直ぐに今井川を渡ります。二つ目の道を右折、ここから権太坂に入ります。



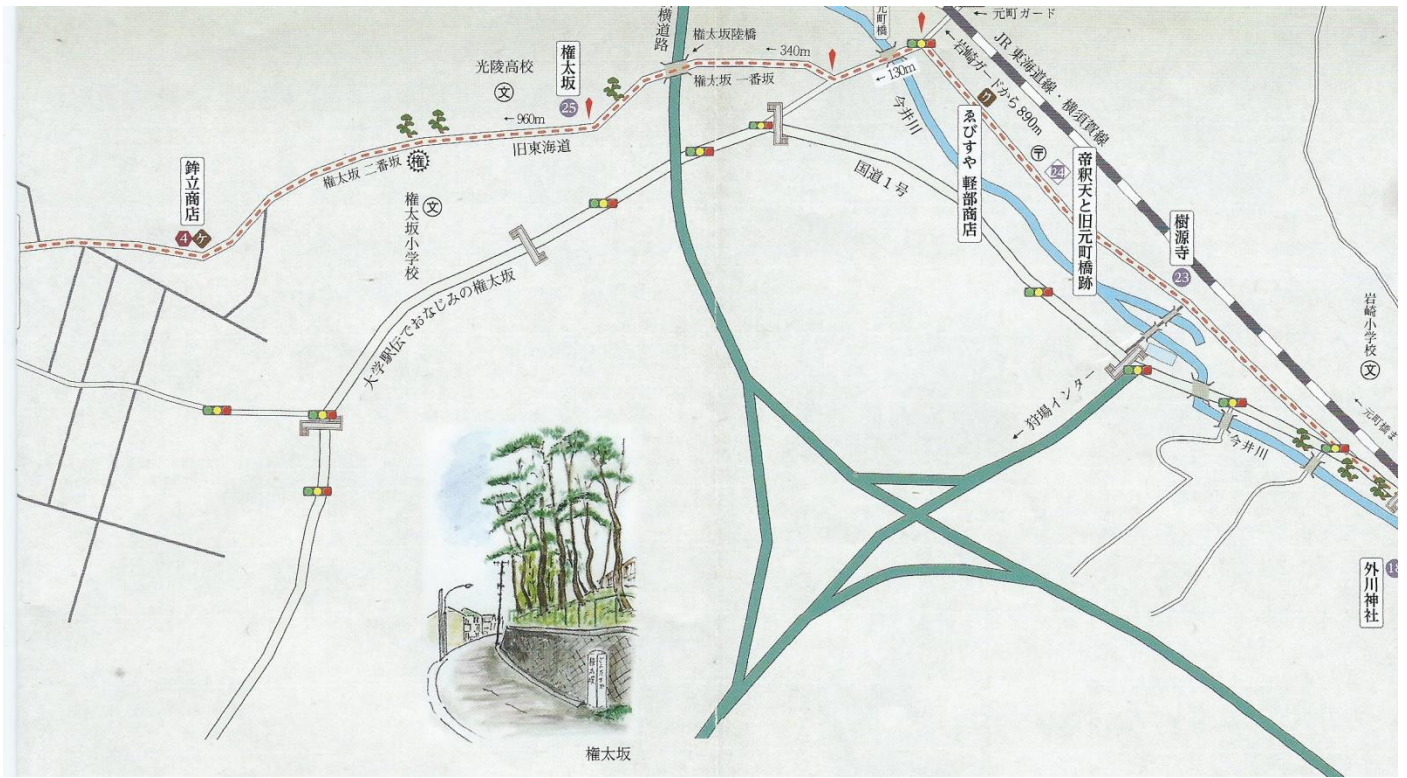
外川神社



一里塚と復元された松並木



樹源寺



曲がり角には道標があります。急坂を 340m も上ると横横道路を跨ぐ陸橋があります。渡った直ぐ右側に光陵高校があります。そこより少し先から権太坂二番坂となります。この付近からの眺望は素晴らしく、晴れていれば右手には丹沢山塊と富士山が、左手にはみなとみらいのビル群が望見できます。



権太坂からの展望



横横道路の陸橋からみなとみらいのビル群が

そこよりだらだらと坂を下っていきます。左にカーブするようにして下ったところに境木中学校と小学校があります。右折します。直ぐの道を右折すると菓匠「栗山」があり、そこで名物の「境木おじそうさんもなか」や「ごん太餅」がゲットできます。その先右手に境木立場跡・境木地藏尊・武相国境モニュメントがあります。その先で国道 1 号線（駅伝でお馴染みの権太坂）と合流します。



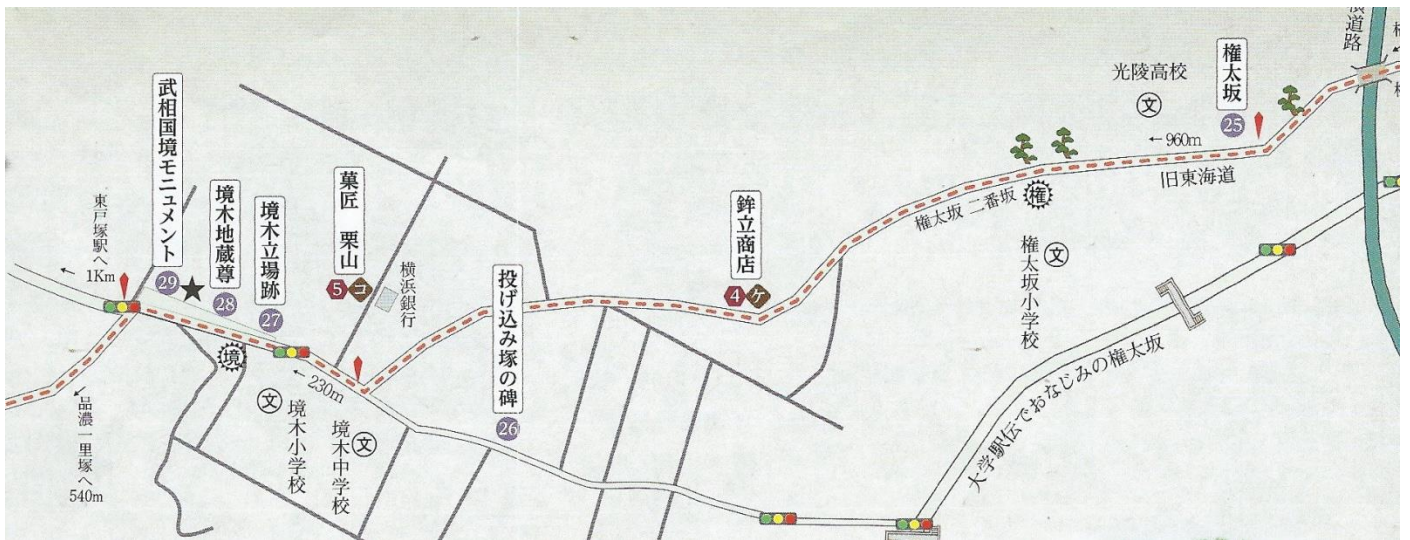
境木立場跡



境木地藏尊



武相国境モニュメント



旧東海道の権太坂が難所だったことが実感できたことと思います。そこを直進すれば「品濃一里塚」に出ます。品濃谷宿公園のところを右折して長い坂を約1 km下っていくと東戸塚の駅前に出ます。



境木立場跡



境木地蔵尊



1号線の権太坂線のバス停



大仙寺



権太坂をを東戸塚へ下る



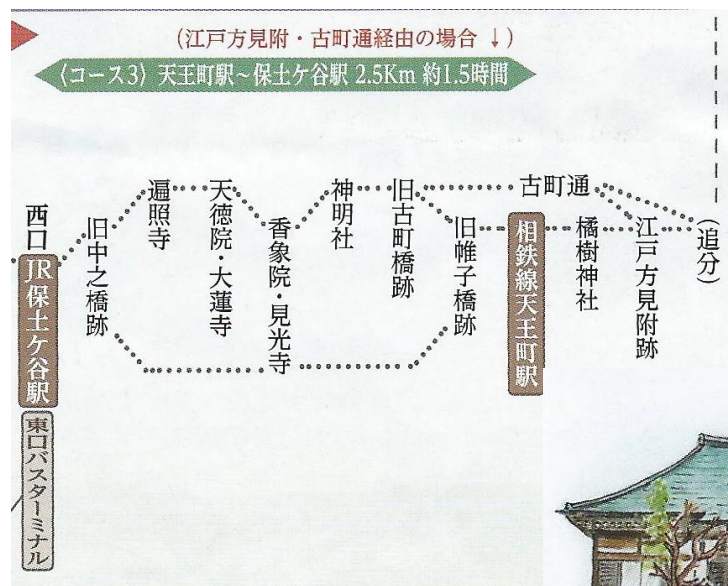
戸塚駅前より権太坂を振り返る

横浜旧東海道 保土ヶ谷宿

C 班コース



C 班の方は国道 1 号線にある本陣跡を見学後、権田坂には向かわず負荷の少ない天王寺方面に向かいます。



C 班は大仙寺で A/B 班と別れ線路に沿って U ターンします。一旦駅前まで出て直進し、一つの信号で左折、直ぐ正面に通照寺が現れます。そして通りを一つ越すと左手の丘の上に大蓮寺が見えてきます。素晴らしい建物と庭園が見所です。更に先に進むと天徳院があります。

通照寺



大蓮寺



7 天徳院

開山は安土桃山時代(1573年)。本尊は運慶作といわれる地藏菩薩坐像。土地の豪族、小野筑後守が帰依して建立した。曹洞宗。



5 香象院

開山の年代は不詳。保土ヶ谷宿で最大の寺子屋があり、明治6年(1873年)に保土ヶ谷小学校の分校となった。保土ヶ谷郷土史家・磯貝正氏の功績を称えた碑がある。真言宗。



6 見光寺

開山は江戸時代初期(1629年)。保土ヶ谷の住人で熱心な浄土宗の信者、茂平夫妻が建てた。保土ヶ谷出身のコラムニスト青木雨彦氏の句碑がある。



4 神明社

創建は平安時代中期(970年)。当地は伊勢神宮の御領地として寄進され榛谷御厨と呼ばれ、その鎮守として神明社が建立された。祭神は天照大御神。



3 帷子橋跡モニュメント

昭和39年(1964年)の帷子川の河川改修以前は、今の天王町駅前公園に旧帷子橋が架かっていた。



2 橋樹神社

創建は鎌倉時代初期(1186年)。江戸時代は牛頭天王社といわれる天王町の由来である。大正時代に現在の橋樹神社となった。祭神は素盞鳴尊。

本殿の裏手には横浜市内最古といわれる寛文9年(1669年)の銘が刻まれた青面金剛庚申塔がある。



また表通り(横浜環状1号線—旧東海道)に出ます。道を少し戻ると直ぐに香象院と見光寺が並んで迎えてくれます。そして先ほどの道に戻り少し西に向かうと左手に大きな鳥居が見えてきます。神明社です。広い参道の奥に本殿が控えています。その手前に「人形(ひとがた)流し」と言って、知らず知らずのうちに犯した罪や心身の汚れを取り除くための儀式です。人形で体を撫で息を吹きかけて罪汚れを付着させた人形を清流に流す というものだそうです。心当たりのある方は是非お試しください。

また元の1号線に戻り左に進めば直ぐに相鉄天王町駅に出ます。駅前の広場には帷子橋跡のモニュメントがあります。相鉄線のガードをくぐり帷子川を渡った先の信号の左先に橋樹神社があります。信号の先は賑やかな天王町商店街があり、そして国道16号線を渡ると有名な興福寺松原商店街に繋がります。残念ながら散策の当日は定休日です。シャッターが下りていますが、横浜のアメ横と言われているところです。商店街を抜けたら表通りに、少し戻ったところに興福寺のバス停があります。そこより横浜駅西口に戻ります。バスは頻繁に來ています。お疲れさまでした!



程ヶ谷宿番所の元気なおばちゃんたち



天王町の帷子川